

先物・オプションマーケット

銀行、証券等の先物・オプション取引に係る時価情報について

平成2年5月29日、企業会計審議会が報告書「先物・オプション取引等の会計基準に関する意見書等について」を提出、公表したのを受け、同年12月に関係省令等の改正が行われ、平成3年3月期決算時から、先物取引及びオプション取引に係る時価情報が開示されることとなった。

本稿は、大証上場の銀行、証券、損保計97社（長信銀3行、都銀11行、地銀28行、第二地銀15行、信託6行、証券23社、損保11社）について、決算短信から先物・オプションに係る時価情報を業態別に集計したものである。

時価情報開示の主旨と留意点

上記の企業会計審議会報告書の第1部「先物・オプション取引等に係る時価情報の開示に関する意見書」において、これらを開示する主旨として以下のように述べられている。

- 企業は、多様な金融商品取引を利用して新たな収益機会を得る一方、各種のリスクにさらされる度合いを深めているが、現行実務上、その多くがオフ・バランスとなっているために、取引実態の的確な把握が困難である。特に先物・オプション取引は、取引量の増大、取引のグローバル化のため、その取引実態について十分な財務情報の開示が強く求められている。
- 現行実務では、先物・オプション取引に係る損益には決済基準が採用されているため、これらの取引が企業財務に与える影響は、当該取引の決済時まで明らかにされない。したがって、これらの取引の実態が適時・適切に開示されるためには、決算時における未決済の契約額、それに対応する時価及び差損益を開示し、財務諸表の有用性を高める必要がある。
- 現行実務のもとでは、期末において利益の発生している取引のみを決済し、損失の発生している取引を未決済のまま残すといった恣意的な取引を行うことにより期間損益を操作する余地があるが、このような操作を抑止するためにも、時価情報を開示することは有効

である。

なお、先物・オプション取引がヘッジ目的で行われている場合に、それによってヘッジされている現物有価証券の時価情報を併せて開示しないと、投資者等の判断を誤らせるおそれがあることなどの理由から、市場性のある有価証券の時価情報も同時に開示されている。

時価情報開示の要旨は以上のとおりであるが、これらの時価情報をみるうえで、次の諸点に留意する必要があると思われる。

- 開示された先物・オプションに係るポジションが、ヘッジ、スペキュレーションあるいはアービトラージかといった目的が明らかでないうえ、先物とオプションや複数のオプションを組み合わせた複合商品については、個々の先物又はオプションに分解して、それぞれについて時価情報が開示されているため、負担しているリスクの状況の把握が困難である。
- 開示される時価情報は決算期末時点で保有しているポジションについてのものであり、必ずしもこれが先物取引やオプション取引の利用の有無や多寡を示すものではない。

業態別に見たポジションの保有状況

表1は、金利、債券及び株式の先物・オプション取引で期末現在でポジションを保有していた会社数、表2及び表3は各社の決算短信に記載された先物・オプション取引に係る時価情報を業態別に集計したものである。

まず、先物のポジション保有状況（表1）をみると、株式先物については97社のうち40社がポジションを保有している。会社数では金利先物とほぼ同数であるが、その内訳をみると金利先物は銀行が多く、株式先物では証

表1 業態別ポジション保有状況 (単位:社)

	全社数	先物			オプション		
		金利	債券	株式	金利	債券	株式
長信銀	3	3	3	2	3	3	0
都銀	11	11	9	3	9	9	0
地銀	28	12	23	11	0	14	6
第二地銀	15	2	8	5	0	2	0
信託	6	6	6	3	6	6	2
証券	23	8	19	15	1	12	13
損保	11	0	4	1	0	2	1
計	97	42	72	40	19	48	22

券が多くなっている。そして両者の中間的な商品である債券先物は全業態にわたって広く保有されている。オプションでは、ポジション保有会社数は金利、債券、株式とも先物の半数程度であるが、金利オプションと株式オプションを比較すると、先物の場合よりも業態間の偏りが明白になっている。

ポジションの規模は表2、表3のとおりであるが、業態別の集計は、業態内でのポジションの規模にばらつきがあり、この点に留意する必要がある。

まず、株式先物についてみると、長期信用銀行では日本興業銀行の売建て980億円(契約額ベース以下同じ)、日本長期信用銀行の売建て465億円に対し日本債券信用銀行はポジションがなく、都市銀行では第一勧業銀行の売建て309億円が突出しており、このほかでは三菱銀行と三和銀行に若干の売建てがあるのみである。地方銀行では、売建てで大阪銀行(180億円)、北陸銀行(108億円)、買建てで四国銀行(80億円)、北陸銀行(79億円)が目立つが、このほかにもポジションを有する銀行が比較的多い。第二地方銀行では、売建てで近畿銀行(31億円)、兵庫銀行(13億円)、買建てで兵庫銀行(37億円)、トマト銀行(10億円)がほとんどを占めている。信託銀行では住友信託銀行の売建て62億円、買建て34億円が目立って大きい。

一方、ポジション総額のうち大部分を占める証券会社については、大手4社では野村証券(売建て2,460億円、買建て850億円)、大和証券(売建て1,049億円、買建て

858億円)、山一証券(売建て787億円、買建て772億円)、準大手では、勸角証券(売建て574億円、買建て597億円)のほか和光、東洋、新日本の各証券が売建て、買建てそれぞれに300~400億円程度のポジションを保有しているのに対して、日興証券のポジションが比較的少ない(売建て89億円、買建て173億円)のが目を引く。

次に、株式オプション取引については、表3に示すように、証券会社のポジションがほとんどであるが、なかでも、野村証券がコールの売建て159億円(貸借対照表価額ベース以下同じ)、買建て479億円、プットの売建て50億円、買建て57億円と大きな割合を占め、他社は日興証券のコールの買建て8億円をはじめ、いずれも少額である。証券会社以外では数千万円程度のポジションがほとんどであり、わずかに地方銀行の北陸銀行がプットで10億円の売建て、2億円の買建てを保有しているが目立つ程度である。

以上のように、各業態内部においてもばらつきがみられるが、先にも述べたとおり、ポジションの大きさは、現物と絡めた利用態様や投資戦略と総合的に判断すべきものであることから、期末一時点の残高、損益が必ずしも株式先物・オプション取引に係るリスク負担の大きさや利用の多寡を示すものではないことを再度強調しておきたい。その意味で、かかる業態別集計結果がいかほどの有用性ある資料たりうるかについてもいささか疑問なしとしないが、初めてのケースであることからあえて採り上げた。ご意見が寄せられることを期待する。

表2 先物取引に係る時価情報

(単位:百万円)

		長信銀	都銀	地銀	第二地銀	信託	証券	損保	計	
合計	売建	契約額	3,029,220	9,061,819	1,126,716	45,083	2,939,142	3,789,314	24,947	20,016,241
		時価	3,026,566	9,080,585	1,127,296	45,245	2,946,658	3,781,131	24,920	20,032,401
		差損益	2,537▲	18,812▲	579▲	158▲	7,735▲	8,181	26▲	16,540
	買建	契約額	2,859,250	10,251,729	1,097,860	41,349	2,512,284	3,245,920	18,084	20,026,476
		時価	2,860,843	10,255,019	1,088,736	41,257	2,511,666	3,221,028	18,128	19,996,677
		差損益	1,729	3,274▲	9,117▲	94▲	352▲	24,887	44▲	29,403
差引計		4,266▲	15,538▲	9,699▲	254▲	8,085▲	16,705	70▲	45,945	

(内訳)

(単位:百万円)

		長信銀	都銀	地銀	第二地銀	信託	証券	損保	計	
金利	売建	契約額	1,651,915	6,957,396	156,990	4,478	2,025,160	571,684	—	11,367,623
		時価	1,653,428	6,974,291	157,090	4,475	2,031,406	571,740	—	11,392,430
		差損益	▲1,512	▲16,891	▲101	2▲	6,242▲	55	—	▲24,799
金利	買建	契約額	1,978,479	8,333,106	165,843	3,020	1,862,394	755,519	—	13,098,361
		時価	1,981,566	8,345,846	165,802	3,021	1,865,907	755,168	—	13,117,310
		差損益	3,088	12,735▲	41	1	3,512▲	346	—	18,949

		長信銀	都 銀	地 銀	第二地銀	信 託	証 券	損 保	計	
通 貨	売 建	契約額	2,132	2,650	—	—	4,742	4,183	—	13,707
		時 価	2,016	2,603	—	—	4,548	4,239	—	13,406
		差損益	116	46	—	—	194▲	55	—	(301)
	買 建	契約額	1,299	10,054	—	—	5,436	24,195	—	40,984
		時 価	1,161	10,064	—	—	5,163	23,682	—	40,070
		差損益	▲137	9	—	—	▲271	▲513	—	(▲912)
債 券	売 建	契約額	1,230,641	2,064,538	922,024	36,004	901,225	2,578,289	21,436	7,754,157
		時 価	1,228,684	2,066,978	923,184	35,892	902,867	2,572,798	21,475	7,751,878
		差損益	1,955▲	2,437▲	1,159▲	113▲	1,643▲	5,484▲	40▲	2,273
	買 建	契約額	873,253	1,908,201	898,277	33,192	639,074	1,987,972	18,084	6,358,053
		時 価	871,753	1,898,740	889,764	32,886	635,285	1,978,383	18,128	6,324,939
		差損益	▲1,499	▲9,460	▲8,503	▲302	▲3,789	▲9,586	44▲	33,095
株 式	売 建	契約額	144,530	36,262	47,696	4,598	7,982	635,148	3,510	879,726
		時 価	142,437	35,748	47,016	4,876	7,833	632,344	3,445	873,699
		差損益	2,092	513	681▲	277	148	2,802	65	6,024
	買 建	契約額	6,217	1,325	33,734	5,135	5,375	478,222	—	530,008
		時 価	6,360	1,325	33,164	5,346	5,306	463,781	—	515,282
		差損益	142	0▲	569	211▲	69▲	14,435	—	14,720

(注1) 通貨先物取引については、期末日に引直しを行い、差損益を損益計算書に計上されているため、当該差損益は合計及び差引計には含まれていない。

(注2) 証券の通貨先物取引については、「その他」に計上されているが、便宜上「通貨」の欄に算入した。

(注3) 集計した各社単位で百万円未満切捨て。

表3 オプション取引に係る時価情報

(単位:百万円)

		長信銀	都 銀	地 銀	第二地銀	信 託	証 券	損 保	計	
合 計	売 建	貸借対照表価額	5,304	9,118	1,337	63	3,946	31,918	1,300	52,986
		時 価	4,847	7,969	455	16	3,920	20,146	1,300	38,653
		差損益	456	1,147	879	45	24	11,764	0	14,315
	買 建	貸借対照表価額	7,106	8,600	692	16	2,258	63,193	302	82,167
		時 価	6,748	6,385	502	9	1,890	58,795	302	74,631
		差損益	▲356	▲2,210	▲184	▲6	▲368	▲4,396	0▲	7,520
差 引 計		99▲	1,064	698	39▲	341	7,370	0	6,801	

内訳 コール・オプション

(単位:百万円)

		長信銀	都 銀	地 銀	第二地銀	信 託	証 券	損 保	計	
金 利	売 建	貸借対照表価額	413	349	—	—	272	—	—	1,034
		時 価	473	454	—	—	448	—	—	1,375
		差損益	▲58	▲101	—	—	▲175	—	—	▲334
	買 建	貸借対照表価額	186	445	—	—	353	4	—	988
		時 価	250	542	—	—	499	8	—	1,299
		差損益	63	92	—	—	147	3	—	305

		長信銀	都 銀	地 銀	第二地銀	信 託	証 券	損 保	計	
通 貨	売 建	貸借対照表 価額	521	2	—	—	73	—	596	
		時 価	521	2	—	—	131	—	654	
		差 損 益	0	0	—	—	▲ 57	—	▲ 57	
	買 建	貸借対照表 価額	538	17	—	—	—	—	555	
		時 価	538	17	—	—	—	—	555	
		差 損 益	0	0	—	—	—	—	0	
債 券	売 建	貸借対照表 価額	834	3,024	36	63	1,023	3,443	939	9,362
		時 価	669	2,346	24	16	969	2,776	939	7,739
		差 損 益	164	675	11	45	55	663	0	1,613
	買 建	貸借対照表 価額	1,023	3,705	140	10	560	2,934	—	8,372
		時 価	835	2,315	83	4	355	2,561	—	6,153
		差 損 益	▲ 186	▲ 1,389	▲ 54	▲ 5	▲ 204	▲ 371	—	▲ 2,209
株 式	売 建	貸借対照表 価額	—	—	153	—	34	18,098	5	18,290
		時 価	—	—	73	—	8	11,376	5	11,462
		差 損 益	—	—	77	—	26	6,714	0	6,817
	買 建	貸借対照表 価額	—	—	128	—	—	49,491	—	49,619
		時 価	—	—	71	—	—	43,110	—	43,181
		差 損 益	—	—	▲ 52	—	—	▲ 6,374	—	▲ 6,426

プット・オプション

(単位：百万円)

		長信銀	都 銀	地 銀	第二地銀	信 託	証 券	損 保	計	
金 利	売 建	貸借対照表 価額	396	2,635	—	—	162	—	—	3,193
		時 価	259	2,343	—	—	88	—	—	2,690
		差 損 益	135	286	—	—	73	—	—	494
	買 建	貸借対照表 価額	118	413	—	—	90	—	—	621
		時 価	52	222	—	—	53	—	—	327
		差 損 益	▲ 65	▲ 185	—	—	▲ 35	—	—	▲ 285
通 貨	売 建	貸借対照表 価額	10	405	—	—	41	—	—	456
		時 価	10	405	—	—	3	—	—	418
		差 損 益	0	0	—	—	37	—	—	37
	買 建	貸借対照表 価額	9	482	—	—	—	—	—	491
		時 価	9	482	—	—	—	—	—	491
		差 損 益	0	0	—	—	—	—	—	0
債 券	売 建	貸借対照表 価額	3,123	2,710	19	—	2,320	4,745	355	13,272
		時 価	2,909	2,414	21	—	2,240	3,684	355	11,623
		差 損 益	212	293	▲ 4	—	81	1,058	0	1,640
	買 建	貸借対照表 価額	5,226	3,509	119	6	1,245	3,677	302	14,084
		時 価	5,059	2,791	86	5	974	2,968	302	12,185
		差 損 益	▲ 167	▲ 716	▲ 32	1	▲ 270	▲ 707	0	▲ 1,891
株 式	売 建	貸借対照表 価額	—	—	1,125	—	12	5,623	—	6,760
		時 価	—	—	332	—	27	2,297	—	2,656
		差 損 益	—	—	794	—	▲ 14	3,328	—	4,108
	買 建	貸借対照表 価額	—	—	298	—	4	7,077	—	7,379
		時 価	—	—	256	—	4	10,138	—	10,398
		差 損 益	—	—	▲ 41	—	0	3,059	—	3,018

(注1) 長信銀、都銀の通貨オプション取引は、期末日に引直しを行っているため、貸借対照表価額は時価を記載している。

(注2) 集計した各社単位で百万円未満切捨て。

(T. N.)